

(公印省略)

24う連携第306号
平成24年11月28日

関係各位

うきは市農林・商工観光課
(農商工観光連携係)

うきはスイーツコレクション事業説明会及び講演会の開催について(ご案内)

日ごろより、市農商工観光連携行政へのご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、うきは特産のフルーツを活用した和洋菓子「スイーツ」を活用した町おこし「うきはスイーツコレクション」を開催する運びとなりました。主には「フルーツ生産者」と「スイーツショップ」を繋ぎ、一年を通じて様々な種類のフルーツが収穫できる「うきはの魅力」を活用して、老若男女問わず人気のスイーツは「うきはブランド」としても期待できます。

今回は、事業説明会とあわせて「特産品開発によるムラづくり」と題し、雑誌九州のムラへ行こう編集長で地域力総合アドバイザーの養父信夫氏による講演会も開催し、専心事例紹介と「うきはスイーツコレクション」の楽しみ方を学ぶきっかけになればと考えています。

つきましては、年末のお忙しい中大変恐縮ではございますが、是非ご参加頂きますようお願いいたします。なお、本格的な商品開発はこの説明会を経て取り組みますので、当日改めてご案内いたします。

記

- 1 日 時 平成24年12月12日(水)午後6時から(2時間程度)
- 2 場 所 うきは市ムラおこしセンター(うきは市吉井町)
- 3 参 加 料 無料
- 4 備 考 詳細は別添のとおりです。

※大変恐れ入りますが、座席に限りがありますので、予め別紙申込書にご記入の上、12月7日(金)までに下記事務局までFAX等でお知らせ下さい。

[お問い合わせ]

うきは市農林・商工観光課 田篠、吉弘
電話 0943-75-4975 FAX 0943-75-3114

うきは市
「特産品開発によるムラづくり」講演会

<趣旨>

全国では、地域活性の一策として、地元食材を活用した特産品開発を行う自治体が増えてきており、新たなムラの生業として、またプロモーション策としても注目されています。

そんな中、うきは市では、福岡を代表するフルーツの一大生産地であることから、地元フルーツを活用した特産品開発による地域活性の可能性を模索しているところです。そこで大切なのは、生産者や加工者など当事者となる地域住民がうきは市の魅力を理解し、さらに方向性を共有し、一体となって取り組むことと考えます。

今回の講演会では、雑誌「九州のムラへ行こう」編集長養父信夫氏をお招きし、九州各地の特産品開発の先進事例を紹介する中で、地域活性のあり方、実践者の楽しみ方を学び、地域の新たな生業づくりへのきっかけとなればと考えております。

うきは市の将来を地域住民の手で考えていくために、ぜひご参加ください。

<講演会概要>

■日時 平成24年12月12日(水) 18:00~

■場所 うきは市吉井町ムラおこしセンター

■参加費 無料

■講師 養父 信夫 氏
(雑誌九州のムラへ行こう 編集長)

■次第
あいさつ
うきはスイーツコレクション概要説明
講演会
質疑応答
今後のスケジュール確認
終了



■養父信夫プロフィール

1962年6月22日生まれ。福岡県宗像郡大島村、玄海町(現宗像市)で幼少を過ごす1986年、九州大学法学部法律学科卒。同年リクルート入社。1998年に独立し、都市と農村をつなぐグリーンツーリズムを広げる活動を開始。同年、色々とした地域生活の総合誌『九州のムラ』の発行に携わる。現在、同誌編集長として、地域に生きる人々の暮らしを中心に取材を重ね、「九州のムラ」を通じ、ムラとマチをつなげる。また、講演や地域活性のアドバイザーなど、グリーンツーリズムやスローフード運動の啓蒙活動も積極的に行ってている。

- ・地域力総合アドバイザー(総務省)
- ・九州農政局九州地域食育推進フォーラム委員
- ・長崎県グリーン・ツーリズムビジネスアドバイザー
- ・「九州のムラたび応援団」団長

(別 紙) このまま送信下さい。

FAX 75-3114 農林・商工観光課 スイーツコレクション担当宛

参 加 申 込 書

平成 24 年 12 月 12 日 (水) のうきはスイーツコレクション事業説明会・講演会に参加します。

会 社 名 (農園名・店舗名)

代表者名 _____ 参加人数 人

ご住所 市 町 _____

電 話 () - - - -

FAX () - - - -

メール

ホームページの有無 有り • 無し

■講師への質問事項等ございましたらご記入下さい。

--